



タウンサポーター

下都賀教育事務所ふれあい学習情報紙 第172号【令和7年12月号】

下都賀教育事務所ふれあい学習課

検索

【発行】 下都賀教育事務所ふれあい学習課
【TEL】 0282-23-3422
【E-mail】 shimotsuga-hureai@pref.tochigi.lg.jp

地域をつなぐふれあい学習

野木町

料理で三世代交流～野木町ワイワイクッキング～



今日のメニューはシュウマイとかぼちゃスープ。固いかぼちゃをぎこちなく切る小学3年生のAさんを、オピニオン友の会のBさんが見守っています。Cさんのお母さんがスープをかき混ぜながら、肉団子を丸めるDさんに「もうちょっと小さいほうがいいかな…」と声をかけています。調理室はいつもにぎやか。笑顔があふれます。

毎月第1土曜日、野木町オピニオン友の会の会員を講師に、料理教室「ワイワイクッキング」を開講しています。受講者は小学生。保護者も受講できます。

定員16名の本講座は、毎月すぐに定員が埋まってしまいます。子どもを迎えてきた母親がスープを味見して二通り。食器を洗う我が子を見つけ「わあ、洗い物してる～！」と感激。家でもやってみてね。



とちぎ市民活動推進センター くらら

こどもを起点に多世代のつながりを育みたい

とちぎ市民活動推進センターくららは、市民活動と協働を推進することで、市民主体の地域づくりの拠点となれるよう業務を行い、20年が経ちました。様々な目的をもって活動しているNPO法人や団体の皆さんと一緒に、栃木市をよりよくするための学びや交流、実践を積み重ねてきました。

今年度は「こどもの居場所づくりと体験活動」をテーマに、情報の集約・発信、関係する団体や行政、児童館等の施設、事業者等のつながりづくりに力を



入れています。今の社会は、サービスを提供する側の都合で、子どもの生きられる世界が小さく細分化されてしまうように感じます。どのような境遇にあっても、今を生きている地域で、安心と豊かな経験が得られるような多世代のつながりを育んでいきたいです。



下都賀地区PTA指導者研修Ⅱ

10月20日(月)小山市大谷市民交流センターを会場に標題の研修会を開催しました。

研修1の前半は、「これからPTAってどんなカタチ?」をテーマに、下野市立古山小学校前PTA会長 加藤仁氏、栃木市教育委員会事務局生涯学習課 大類竜矢氏に御登壇いただき、それぞれ事例発表をしていただきました。



加藤氏からは子どもたちを笑顔にするプロジェクト「古山さわやかフェスト」を開催するまでの経緯や、古山小PTAが子どもたちのためにどのように活動を行っているかについて詳しくお話しいただきました。また、大類氏からは、栃木市で行っているアシストネット事業とPTAが連携、協働した取組の事例を御紹介いただき、地域ぐるみで子どもたちの成長を支える様子や大人同士のつながりについてもお話しいただきました。

後半には、インタビューフォーラムを行い、お二人のPTA活動に対する思いをお聴きすることができました。

研修2では、会場を三つに分け、「これからのPTA活動について考える」をテーマに、分散会を実施しました。それぞれの会場では、参加者が活発に意見交換を行い、有意義な研修となりました。本研修を通して、参加者それぞれが各単位PTAの今後の在り方について考えるきっかけとなりました。



＜参加者の感想＞

- ・PTAの在り方を深く考えさせられました。また、他校のPTAの方の話も聴け、良い機会になりました。
- ・子どものために何ができるのか、改めて考えさせられました。自分でできることから始めたいです。

下都賀地区ふれあい学習研修会 兼下都賀地区地域連携教員研修

10月7日(火)城址公園ホール(壬生中央公民館)を会場に標題の研修会を開催しました。

学校と地域が互いを理解し合い、協働体制を確立していくために、「熟議」を基盤として学校と地域が協働し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図ることをねらいとし、二部構成の研修を行いました。

研修1では、文科省コミュニティ・スクール推進員(CSマイスター)である、四柳千夏子氏から、地域とともにある学校づくりに向けて、よりよい運営をするための御講話をいただきました。

研修2では、地域と学校が安心して話し合える「熟議」に必要なポイントについて四柳先生に御助言をいただき、各自が熟議を体験しながらファシリテーションの手法を学びました。グループごとに一人一人の意見に耳を傾け、互いの考えに共感しながら議論する様子が見られ、90分があっという間に過ぎてしまいました。「熟議の良さ」を体感できた大変有意義な機会となりました。



＜参加者の感想＞

- ・実際に熟議をやってみて、みんなで話し合うことの楽しさや他の人の意見から得られる学びを体験することができました。
- ・“何のため”という目的意識がとても大切だということが再認識できました。



「子どもの居場所づくり」について～下都賀地区ふれあい学習推進会議から～

11月27日(木)第3回下都賀地区ふれあい学習推進会議では、公民館が「子どもの居場所」となるためにできることについて検討しました。まず、ふれあい学習推進委員が市町ごとに分かれ、委員が所属する公民館の現状をSWOT分析(S:強み、W:弱み、O:機会、T:脅威)しました。

その後の協議では、4つの要素を効果的に組み合わせ、各公民館が「子どもの居場所」となるための戦略を考えました。

1月に開催予定の「下都賀地区ふれあい学習ネットワーク」では、文教大学人間科学部准教授・青山鉄兵先生による講演「子どもが『居たい』『行きたい』『やってみたい』と思える居場所づくり」を予定しています。

この講演を踏まえ、令和8年度のふれあい学習推進課意義では、それぞれの“ならでは”を生かした公民館の居場所づくりにつなげていきたいと考えています。

「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。「ふれあい学習」を通して、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指します。